

国内と海外の大学、どちらにも可能性が開けます。

日本の大学と海外の大学との併願

国内の大学と海外の大学、両方に出願することが可能です

海外の大学に出願を絞ることに不安を感じていたり、日本の大学も受けたいと思っていたり、進路について決めきれない人もいるでしょう。そのような場合、国内大学と海外大学を併願するという選択肢もあります。両方に出願をするのは大変なのでは、と思うかもしれませんが、必要な受験対策が増えるわけではありません。その仕組みをご説明します。

海外の大学の入学者選抜は書類審査が主流です

海外の大学には入試がなく、合否は書類審査で決まるのが主流です。準備さえしっかり行えば、受験に特化した対策は必要ありません。しっかりと日本の大学の受験対策をし、その一方で海外大学のための書類の準備を進めていけば、どちらにも出願することが可能です。

日本の大学と異なる出願のタイミングに注意しましょう

日本の大学への出願は、1月～3月の受験、4月の入学を念頭に、出願大学を絞り込んでいくのが一般的です。総合選抜や学校推薦型選抜等の場合はやや異なりますが、基本的にはほぼ同じ時期に入学試験が行われます。

海外の大学の場合は、入学できるタイミングが複数回あります。たとえばアメリカでは、秋学期（8～9月）と、冬・春学期（1月・3月）に入学できる大学が数多く存在します。スケジュールもそれぞれ異なるため、進学を希望する大学の情報を調べ、出願スケジュール、出願に必要な書類をできるだけ早く把握しましょう。

高校を卒業して9月に入学したい場合、出願時期の目安は前年の11月～3月頃です。日本の大学の受験結果を受けてからでも、3月の海外大学の出願に、急げば間に合う場合もあります。

出願書類は Web サイトで確認できます

海外の大学への出願書類は、各大学の Web サイトに掲載されています。その国の学生と留学生では必要な書類が異なるため、必ず International や International student 等の記載があるページを開いて確認してください。英文の推薦状は先生等に依頼する必要があるので、できるだけ早めに依頼しましょう。その他の書類も、ミスや漏れのないよう準備することが大切です。